

1 . 件名 : 原子力エネルギー協議会との面談

2 . 日時 : 令和 2 年 9 月 1 7 日 (木) 1 6 : 3 5 ~ 1 7 : 1 0

3 . 場所 : 原子力規制庁 8 階会議室

4 . 出席者 :

原子力規制庁 原子力規制部原子力規制企画課 森下課長、榎本補佐
技術基盤グループ技術基盤課 佐々木企画調整官、鈴木補佐、
大森係長

原子力エネルギー協議会 (以下「ATENA」という。) 事務局長、他 3 名 (テレビ会議システムによる出席)

5 . 要旨 :

- ATENA から、発電用原子炉施設のデジタル安全保護回路に係る共通要因故障対策に関する事業者側の対応状況等の聴取のための公開会合にて説明予定としている資料案が提出された。また公開会合開催に向けた今後の段取り等を確認した。
- ATENA から、本年 3 月から 7 月にかけて開催した経年劣化管理に係る ATENA との実務レベルの技術的意見交換会開催後の ATENA 側のガイド発刊に向けた取組等について説明を受けた。技術的意見交換会で議論の対象とした 3 種の ATENA ガイドについては、本年 9 月下旬発刊予定との話があった。
- ATENA から、前回面談 (本年 9 月 1 0 日) にて原子力規制庁から依頼した、原子力施設付近における航空機の飛行を認めた場合の連絡方法の改善に関して、ATENA 会員に加え、加工メーカー及び JAEA についても ATENA を通じて連絡・調整が可能である旨回答があった。
- 原子力規制庁から、次週の原子力規制委員会の議題として、「人間工学設計評価に関するガイド (案)」の検討に関する今後の進め方について、及び審査実績を踏まえた規制基準等の記載の具体化・表現の改善について 意見・提案の収集結果と今後の進め方 が取り上げられる旨伝えた。
- 原子力規制庁から、原子力施設の状況に応じた運転上の制限 (LCO) 等の継続的改善に係る検討に関して、ATENA での調整状況等について確認を行った。ATENA から、現在資料を準備しており、次回以降の面談にて説明したい旨返答があった。
- 原子力規制庁から、ATENA は電共研の研究成果等に関する調整の窓口となることが可能であるか質問した。ATENA から、可能である旨返答があった。

6 . 配付資料 :

- ・デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障対策の自主的対応について(ドラフト)
- ・原子力発電所におけるデジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障対策に関する技術要件書(ドラフト)
- ・経年劣化管理に関する ATENA ガイドの発刊に向けた取組状況について
- ・設計の経年化評価ガイドライン(案)

以上